

【セミナーの実施計画】

整理番号	S-AA-MPU1		
セミナー名	(和文) 日本学術振興会第一回アジア・アフリカ創薬基盤形成セミナー		
	(英文) JSPS 1 <sup>st</sup> Medicinal Chemistry Seminar of AA Science Platform Program		
開催時期	平成 18 年 12 月 19 日 ~ 平成 18 年 12 月 20 日 (2 日間)		
開催地 (国 (地域) 名、都市名、会場名)	(和文) タイ王国、バンコク、チュラロンコーン大学		
	(英文) Thailand, Bangkok, Chulalongkorn University		
日本側開催責任者 氏名・所属・職	(和文) 齋藤直樹、明治薬科大学大学院薬学研究科・教授		
	(英文) Naoki Saito, Graduate School of Meiji Pharmaceutical University, Professor		
相手国開催責任者 氏名・所属・職 (※日本開催以外の場合は必須)	Khanit Suwanborirux, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Chulalongkorn University, Associate Professor		
参加者数	①本事業の経費により参加する人日数 (その内、共同研究経費により支給するものについてはカッコ内にも記入のこと)		計
	日本側参加者	4 人/16 人日 (4 人/16 人日)	16 人 /50 人日 (10 人/40 人日)
	(インドネシア) 国側参加者	4 人/16 人日 (4 人/16 人日)	
	(インド) 国側参加者	2 人/8 人日 (2 人/8 人日)	
	(タイ) 国側参加者	0 人/0 人日 (0 人/0 人日)	
	②本事業の経費の支給を受けずに参加する人数		計
	日本側参加者	2 人	66 人
	(タイ) 国側参加者	70 人	
	(インドネシア) 国側参加者	0 人	
	(インド) 国側参加者	0 人	
	①と②の合計人数		82 人
開催の目的・意義	<p>単独開催</p> <p>それぞれの拠点大学において、これまでに本プロジェクトに関連して展開してきた研究成果について発表する (招待講演)。これによりそれぞれの研究の評価と問題点の抽出・提示を行う。さらに、基調講演により、本プロジェクトの目的を明確に提示し、相互の理解とこれからの事業展開の方向性を相互確認する。今回は特にタイ国における若手研究者に一般講演やポスタープレゼンテーションの場を提供し、同国の天然物化学に新しい刺激を与える。</p>		

期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. タイ、インドネシア、インドに自生する様々な生物由来生体成分、二次代謝物に関する有機化学、天然物化学、分子生物学、微生物学を基盤とする創薬基礎研究の重要性を提示できる。</li> <li>2. 国際共同研究の方向性を提示することにより、次年度の事業計画の的確な立ち上げに有用な様々な情報を提供する。</li> <li>3. レクチャーシップやポスター賞は若手研究者の研究意欲向上に大きな刺激を与えることができる。</li> <li>4. セミナーの要旨や <b>Proceeding</b> により、広く研究成果を公表することにより社会に様々な情報を提供できる。</li> <li>5. グローバルな視野を持つ力量ある創薬若手研究者の育成につながる。</li> </ol>	
セミナーの運営組織	<p><u>企画準備委員会</u>: 明治薬科大学 AA 創薬研究センターとチュラロンコーン大学薬学部合同</p> <p><u>大会組織委員会</u>: 齋藤直樹、カニ・スワンポリラック</p> <p><u>協賛</u>: JSPS のほか、タイ側において運営資金獲得に向けた協議をおこなう。</p> <p><u>広報、運営、経理</u>: 本学事務官が担当。</p>	
開催経費 分担内容 と概算額	日本側	内容 金額
		運営費、広報、要旨印刷代、通信費など 1,387,000 円
		現時点では本学が負担
	相手国(地域) (タイ)	内容 金額
		未定
相手国(地域) ( )	内容 金額	

